

2022年2月16日

## 2021年12月期決算説明会 質疑応答

株式会社リブセンス

2022年2月16日（水）開催の「2021年12月期決算説明会資料」における質疑応答の概要は下記の通りです。

【Q】 オフィスを縮小移転されるが、業務への影響はどう考えていますか。

【A】 既に90%以上の社員がリモート勤務をしており、全社の集まりもオンラインで行っている状況ですので、移転による業務への影響はないと考えております。一方、二年間のリモート勤務を通じて、直接会うことの大切さも見えてきましたので、新オフィスのリアルな場も有効活用を図り、これまで以上に生産性を高めていきたいと思っております。

【Q】 長期化する新型コロナウイルスの今後の影響について

【A】 2021年においては年間を通じてCOVID-19の影響に左右されない収益構造の構築に努めてきて参りました。既存事業ではマツナビにおけるフードデリバリー業界の開拓に注力し、新規事業においてはこの環境下にもチャンスがある事業に着手しております。とはいえマクロの影響は引き続き一定受けておりますので、仮に回復した場合には力強い成長も期待できると考えています。

【Q】 四半期ベースの売上総利益率の推移をみると、従来の90%前後から前期下半期は80%以下に低下していますが、この要因を教えてください。また、今後の売上総利益率の見通しもあわせて教えてください。

【A】 売上総利益率は低下していますが、企業獲得のための代理店の活用が進んでいることの影響です。今後は現状と同等の水準で推移すると見込んでおります。

【Q】 今期の売上高予想は、転職ナビ撤退の影響を考慮すると前期比で実質8.5億円の増収となりますが、既存事業と新規事業の増収額の内訳を教えてください。

【A】 増収額への貢献は既存事業が多くを占めており、新規事業については大きな寄与を想定しておりません。マツナビや転職ドラフトを中心に、多くの既存事業が前期売上を伸ばしておりますので、今期も勢いを落とさずしっかり伸ばしていきたいと考えております。

以上